



都市地下空間活用研究会

Urban Underground Space Center of Japan

USJ NEWS LETTER

令和5(2023)年8月 No.13

第38回評議員会・第37回通常総会報告

去る6月20日、地下研の第38回評議員会がオンライン開催されました。当日は、12名の評議員については、委任状を含めて全員の出席、また監事2名の出席をいただきました。

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算(案)、第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算(案)、第3号議案 役員選任についてそれぞれ諮ったところ、出席者全員が賛成を表明し、全ての議案が承認され、これらの議案は第37回通常総会に諮ることになりました。また、収支決算の記載の方法について意見と提案があり、それに沿って、次年度以降行うことといたしました。

続いて同日、第37回通常総会が同じくオンライン開催されました。こちらには会員数53名のうち委任状を含めて45名の参加をいただきました。評議員会から上程された上記第1号議案から第3号議案を順次諮っていきましたが、特段の意見はなく、出席者全員が賛成を表明し、全ての議案が承認されました。

今年度の事業予定ほか

去る6月30日、企画運営小委員会幹事会がZoomによるWeb会議方式で開催され、大沢幹事長のもとで、今年度の事業について議論がなされました。

■事業部会のイベント

事業部会のイベントに関しては次の通りとなりました。

合同講演会はこれまでどおり都市みらい推進機構、アーバンインフラ・テクノロジー推進会議と当研究会の共催で進めます。今年度当会から推薦するテーマは、計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長の牧村和彦様による「移動革命の最前線(仮題)」を予定しました。

また定例懇話会は、まず10月に「都市開発と連携した東京メトロのまちづくり(仮題)」(東京地下鉄(株) 取締役 徳永幸久様)、次いで2月に「地下空間活用の在り方と課題～経験を通じて得た知見から～」(株)日建設計 大森高樹様)を候補として調整することとしました。

そして現地視察会は9月に「みなとみらい21 熱供給プラントほか」(みなとみらい21 熱供給(株)ほか)を、12月に「中央新幹線神奈川県駅(仮称)」(JR東海、相模原市)を予定し、3月に「天神、博多地区の地下空間活用」(福岡市住宅都市局、同交通局ほか)、更に次年度早々に「麻布台ヒルズ」(森ビル(株))をそれぞれ予定しました。

合同講演会		
未定	移動革命の最前線（仮題）	計量計画研究所 牧村 和彦 様
定例懇話会		
10月	都市開発と連携した 東京メトロのまちづくり（仮題）	東京地下鉄(株) 徳永 幸久 様
2月	地下空間活用の在り方と課題 ～経験を通じて得た知見から～	(株)日建設計 大森 高樹 様
現地視察会		
9月	みなとみらい21 熱供給プラント みなとみらい駅 災害用地下給水タンク	みなとみらい21 熱供給(株) 横浜高速鉄道(株) 横浜市水道局
12月	中央新幹線神奈川県駅（仮称）	JR 東海 相模原市
3月	天神ビッグバン、博多コネクティッド 高速鉄道3号線（七隈線）延伸 天神地区地域冷暖房	福岡市住宅都市局 福岡市交通局 (株)福岡エネルギーサービス
次年度早々	麻布台ヒルズ	森ビル(株)

■地下空間活用に関する研修会

本研修会は2020秋に初めて東京で開催し、2021年度は大阪で、2022年度は全国の自治体から参加しやすいように、Web方式で開催するとともに、対象を自治体職員に限定せず、当会会員、更に非会員にも拡大しました。今年度は第4回目の研修会として1月下旬に、オンライン方式で開催することにしました。

幹事会では、この研修での事例説明について、過去3回が東京、大阪、名古屋と続いたので、今回は福岡地区の地下街など地下空間活用を取り上げ、更に、特色のある地下街の事例としては、グランフェスタ（姫路）、岡山一番街、メトロ神戸など地下利活用検討分科会が調査対象とした地下街を予定しました。今回も引き続き、国土交通省都市局街路交通施設課、土木学会地下空間研究委員会 計画小委員会の協力をいただき、また、当会会員を通じて全国地下街連合会の会員の各管理者にも参加を働きかけることにしました。

■3つの分科会活動成果報告会

調査研究部門の3つの分科会の成果を、会員相互に情報として共有することを目的に、今年度から活動成果報告会を開催することにしました。開催時期は11月下旬～12月上旬に、会場は定例懇話会で利用させていただいている大手町の3×3ラボ・フューチャーを予定しました。

内容は、有識者の方に講演をいただいた後、3つの分科会の活動経過を報告20分、質疑10分として進めます。その後、国土交通省都市局の皆さんも交えて意見交換会を開催します。

プロジェクトレビュー（R5年8月号）

2023年6月7日	福岡地所株式会社
<p><u>（仮称）天神ビジネスセンター2期計画の概要を公表</u> 福岡地所株式会社他は、福岡市役所北別館跡地を含む福岡市中央区天神1丁目において推進中の（仮称）天神ビジネスセンター2期計画に関し、福岡市から「天神ビッグバンポース」の認定を受けたとして本計画の概要を公表した。地上・地下のバリアフリー化された広場が、地下鉄天神駅や福岡市役所等に地下通路で接続し、回遊性や利便性が向上。地下広場から繋がる7層の吹抜け空間「アクセラリウム」も整備する。 https://fukuokajisho.com/img/newsupload/doc1_c6a72a49f8bfb31e241f75e602b40cd90945743e32.pdf</p>	
2023年6月21日	東京地下鉄株式会社福岡地所株式会社
<p><u>虎ノ門ヒルズ駅の拡張工事完成、虎ノ門ヒルズステーションタワーと繋がり、まちと一体に</u> UR都市機構と東京メトロは、東京メトロ日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」が2023年7月15日(土)に虎ノ門ヒルズステーションタワー「ステーションアトリウム(面積約2,000㎡)」と繋がり、ガラス越しに駅ホームへ自然光が入る、明るく開放的な「駅まち一体」となった新たな駅が誕生すると発表した。 https://www.tokyometro.jp/news/images_h/metroNews230621_g15.pdf</p>	
2023年6月30日	三井不動産株式会社
<p><u>台湾で3施設目・南部初となる「（仮称）三井ショッピングパーク ららぽーと高雄」着工</u> 三井不動産株式会社は、プロジェクト会社である「三雄鳳山啦啦寶都股份有限公司」を通じて進める「（仮称）三井ショッピングパーク ららぽーと高雄」事業を6月30日に着工すると発表した。開業は2026年を予定。MRT 橘線「鳳山西站（高雄市議会）」駅隣接するリージョナル型ショッピングセンター。 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2023/0630/download/20230630.pdf</p>	
2023年7月9日	三菱地所株式会社
<p><u>中国上海市におけるオフィス開発プロジェクト「晶耀虹橋(Crystal Bridge)」へ参画</u> 三菱地所株式会社は、米系大手デベロッパーの Tishman Speyer 社、国有不動産開発企業の新長寧集団、大手運送サービス企業の HuoLaLa 社とともに、大規模複合開発プロジェクト「晶耀虹橋ジンヤオホンチャオ(Crystal Bridge)」に参画する。開放的なサンクンガーデンを整備し、地上、地下を一体的に往来できる公共空間を演出する。 https://www.mec.co.jp/news/mec230703_crystalbridge/mec230703_crystalbridge_3.pdf</p>	
2023年8月3日	中部日本ビルディング株式会社
<p><u>名古屋・中日ビル生まれ変わって竣工</u> 名古屋の栄地区で工事を進めていた中日ビルディング株式会社は、建物が完成したとして8月1日に関係者を集めて竣工式を催した。全面開業は24年春を予定。地下5階、地上33階、塔屋1階、延床11万7,000㎡、オフィス、ホテル、カンファレンス、ショップ・レストランが入居する。 https://chunichi-building.jp/teaser/#news</p>	

2023年8月4日	森ビル株式会社
<p data-bbox="204 197 788 230">「麻布台ヒルズ」2023年11月24日開業</p> <p data-bbox="204 248 1430 456">森ビル株式会社等が、約300件の権利者とおよそ35年かけて進めてきた「麻布台ヒルズ」（虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業）が、2023年11月24日（金）に開業すると発表した。約8.1haの広大な計画区域には、約24,000m²の圧倒的な緑が広がり、延床面積約861,700m²の空間に、オフィス、住宅、商業施設、文化施設、教育機関や医療機関など、多様な都市機能が集積する。</p> <p data-bbox="188 472 1414 539">https://www.mori.co.jp/company/press/release/2023/08/20230808113000004514.html</p>	